



2022年12月6日

各 位

会社名 プロパティエージェント株式会社
代表者名 代表取締役社長 中西 聖
(コード番号 3464、東証プライム)
問合せ先 取締役 CFO 岩瀬 晃二
(TEL. 03-6302-3627)

持株会社体制への移行の検討開始のお知らせ

当社は、2022年12月6日の取締役会において、持株会社体制へ移行するための検討を開始することを決議しましたので、お知らせいたします。

1. 持株会社体制への移行を検討する理由

当社グループは、『「DX」と「不動産」で価値を創造する企業グループ』をコンセプトに、DX不動産事業とDX推進事業を主要事業として展開しており、中期ビジョンの一つとして『進化・変革とサステナビリティの両立』を掲げ、新規事業の開発、既存事業の推進に邁進しております。

ここ数年は、このコンセプト、ビジョンのもとDX(デジタルトランスフォーメーション)に注力しており、以下のような様々な展開をしてまいりました。

- ・2020年8月：個人認証プラットフォーム事業(顔認証等)や関連システム受託開発事業を手掛ける「DXYZ(ディクシーズ)株式会社」を新設
- ・2021年7月：DX支援を主要事業とする「アヴァント株式会社」を子会社化
- ・2021年9月：DX認定取得事業者認定
- ・2021年11月：システムインテグレーションを手掛ける「バーナーズ株式会社」を新設
- ・2022年9月：システム受託開発を主要事業とする「株式会社シービーラボ」を子会社化

この事業展開により、当社グループはDXにより徹底的に効率化された不動産事業とDXをビジネスとして展開するデジタル関連事業という特徴の異なる事業体を構えるグループ構成となっており、その経営環境はそれぞれに異なるものとなっているものの、今後はこれら事業をスピード感をもって成長させることが企業価値向上につながるものと考えております。

このような経営環境、事業構成を総合的に勘案し、また、これらをもって持続的な成長を実現するため、グループ経営戦略機能の強化やグループ間シナジーの創出、各社の自律的経営と経営者人材の育成などに取組める、より一層経営効率化を目指したグループ体制に再構築する必要があると考え、持株会社体制へ移行する検討を開始するに至りました。

2. 持株会社体制への移行時期及び移行方法

持株会社体制への移行時期につきましては、2023年度中に実行することを基本方針とし、移行方法につきましては、今後詳細に最適な方法を検討していく予定となっております。現在、当社の株主様が持株会社体

制への移行後に保有することとなる持株会社の株式につきましては、実質的に上場が維持される方法とする予定でありますので、引き続きのご支援賜りたく存じます。

3. 今後の見通し

今後持株会社体制への移行の日程や方法の詳細が決定いたしましたら速やかに開示いたします。

以 上